

第1号議案

平成24年度事業報告

自平成24年4月 1日

至平成25年3月31日

I 概況

平成24年度は、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による復旧・復興作業が進められましたが、多くの人々の努力にもかかわらず、汚染土壌等の撤去、廃棄物の処理など未だに進まず、被災された多くの方々が先行き不安な生活を送っておられる状況にあります。何よりも、被災された方々が一日も早く安全で安心な生活を過ごせられますよう、迅速に復旧・復興対策が実施されることを切に願う次第です。

世界的な経済状況は、ユーロ圏における財政不安や株価の乱高下等によりその不安定な状態が続いていますが、国内では、昨年末の政権交代に伴う経済対策がすすめられ、金融緩和、財政出動の実施によるデフレ脱却がはかられ、景気回復が期待されています。今後の成長産業の創設が課題と思われまます。

雇用面では、新規大卒者の就職内定率が75%台に上昇しましたが、未だ就職が内定しない新規学卒者が多数存在し、また、非正規雇用の労働者が全体の3割を超えていることなどから、低所得者層の増加による社会保障制度や年金の負担増などあいまって、日本経済に対する先行き不安感は払拭されていない状況にあります。

このような情勢下で、当連合会は、昨年7月に一ツ橋ホールで「第9回東京産業安全衛生大会2012」を東京労働局並びに地区協会等と共催し、約750名の方の参加を得て、成功裏に大会を終了しました。同じく11月にはティアラこうとうにおいて「産業保健フォーラム IN TOKYO 2012」を同様に共催し約1,000名の方の参加を得て、いずれも盛況のうちに終了しました。

また、ここ2年労働災害が増加傾向にあることから、東京労働局が主催する「東京ゼロ災害運動」に協力し、災害多発4業種に対する「安全宣言」活動の取り組みや、その優良者の表彰を実施しました。

さらに、平成24年度に実施された各種講習会等の活動は、労働安全衛生法に基づく技能講習・特別教育を中心に年間計画を上回って実施され、件数で年間348回、講習受講者数で約16,000人に及んでいます。このことは、安全衛生教育の普及促進を図る当連合会の公益目的としての役割を果たすものと評価されます。

一方、平成24年度における収支状況について、事業収入は、労働安全衛生法にかかる登録講習機関としての収入がほとんどを占めています。

今期の講習会収入は、東日本大震災の復旧・復興需要や法令の改正、胆管がんの発生に伴う有機溶剤対策の点検などにより、受講申込者数が昨年比較で約15%増加し回復基調に転じています。当連合会の平成24年度における事業活動収支は、経常収益が約

2億9千万円、経常費用が約2億7000万円となり、収支差額は、正味財産ベースで約2800万円の増加となりました。

この結果、当連合会の財務状況は、資産額約2億8千万円、負債額約3300万円であり、依然厳しい状況が続いておりますが、今後、引き続き、講習収入の増加と経費の節減にさらに努め、財務基盤の確立に努めます。

昨年12月から連合会及び各地区労働基準協会との連絡協議会において、今後の協会の業務のあり方等についての検討を始めました。厳しい経済情勢や各地区協会の財務状況及び中期的な会員数の減少等による業務運営の困難さを踏まえ、今後労働基準協会の業務がどのようにあれば、各会員事業場のニーズに沿ったものとなるのか、今後の業務・組織のあり方を検討しております。平成25年度においては、各地区協会と共に検討を深め、今後の方向を示したいと考えております。

なお、平成24年度末における当法人の会員数は以下のとおりです。

会員の異動状況

区 分	平成23年度末 会 員 数	平成24年度中の異動数		平成24年度末 会 員 数
		入 会	退 会	
一般会員	501	14	23	492
団体会員	19	0	0	19
合 計	520	14	23	511

(対前年度 9減)

II 各事業の取組

1 安全衛生教育事業

当連合会の主たる事業である安全衛生教育事業は、平成24年度には、安全衛生関係の技能講習、特別教育等について延べ348回実施し、その受講申込者数は16,000名に及んでいます。

講習内容は、法定の技能講習・作業主任者技能講習はもとより安全衛生関係の特別教育及び安全衛生推進者等のその他の教育、さらには衛生管理者受験等の準備講習等多岐にわたっており、また、プレス・木工・鉛作業主任者技能講習のように受講生の少ない講習も、公益事業として実施しております。

受講者数は、前年比較で約2,000名(15%)の増加です。法定講習は増加していますが、免許試験受験準備講習等は減少しています。

平成24年度の各種講習等の実施回数等は次のとおり。

(1) 技能講習			
イ	フォークリフト運転 (11時間コース)	12回	68名
ロ	フォークリフト運転 (31時間コース)	26回	393名
ハ	玉掛け	15回	861名
ニ	ガス溶接	12回	423名
ホ	小型移動式クレーン運転	6回	162名
ヘ	床上操作式クレーン運転	6回	160名
ト	プレス機械作業主任者	1回	73名
チ	乾燥設備作業主任者	4回	250名
リ	はい作業主任者	5回	355名
ヌ	木材加工用機械作業主任者	1回	33名
ル	有機溶剤作業主任者	21回	1,744名
ヲ	石綿作業主任者	12回	591名
ワ	特定化学物質・四アルキル鉛作業主任者	20回	1,671名
カ	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	26回	2,103名
ヨ	鉛作業主任者	1回	48名
タ	高所作業車運転	6回	256名
	小 計	174回	9,191名
(2) 特別教育			
イ	研削といし取替業務	12回	509名
ロ	アーク溶接業務	11回	351名
ハ	低圧電気取扱業務	13回	1,167名
ニ	高圧・特別高圧電気取扱業務	13回	806名
ホ	粉じん作業業務	4回	247名
ヘ	産業廃棄物の焼却施設に係る業務	3回	185名
ト	高所作業車運転	6回	219名
	小 計	62回	3,484名
(3) その他の教育			
イ	職長教育	12回	526名
ロ	安全衛生推進者	13回	621名
ハ	衛生推進者	12回	450名
ニ	安全管理者選任時研修	13回	772名
ホ	衛生管理者能力向上教育	1回	25名
ヘ	KYT研修	13回	282名
ト	携帯用丸のこ盤安全教育	11回	81名
チ	リスクアセスメント実務研修	1回	11名
リ	メンタルヘルス推進担当者研修	1回	23名
	小 計	77回	2,791名

(4)	免許試験受験準備講習		
イ	第1種衛生管理者	13回	342名
ロ	第2種衛生管理者	13回	227名
ハ	衛生管理者模擬試験	6回	40名
ニ	エックス線作業主任者	3回	233名
	小計	35回	842名
	合計	348回	16,308名

2 労働災害防止と健康確保対策

(1) 安全・衛生管理者能力向上の促進

東京産業安全衛生大会2012、産業保健フォーラム IN TOKYO 2012、及び衛生管理者協議会研修会や産業医会研修会等を通じて情報を提供しました。

(2) マネジメントシステムの普及促進

リスクベースで考える機械災害防止基礎研修の実施

中央労働災害防止協会に協力して、平成24年10月19日に実施し、計11名の参加がありました。

(3) メンタルヘルス対策の普及促進

事業場内メンタルヘルス推進担当者研修の実施

中央労働災害防止協会に協力して、平成25年1月22日・23日に実施し計23名の参加がありました。

(4) 東京衛生管理者協議会の充実

衛生管理者協議会は、幹事会3回、研修会2回を開催、衛生管理者、保健師等各企業の労働衛生管理活動に携わる関係者延べ137名が参加しました。

この会は発足が平成9年で、現在の会員数は、323社487名です。幹事会を中心に協議会の運営や研修会の企画をしています。

平成24年度実施内容は次のとおり。

イ	内容
(イ)	第1回 平成24年8月31日 当連合会
(ロ)	総会 平成24年8月31日 同上
(ハ)	研修会 同上
①	第1回 平成24年8月31日 参加者70名
	内容 講演
(i)	「労働衛生行政の動向について」 東京労働局労働基準部健康課 健康課長 大河内 秀人
(ii)	講演 「心の健康づくりとその取組について」 (独)労働者健康福祉機構 東京産業保健推進センター メンタルヘルス対策支援センター

促進員 (iii) 班別討議 ②第2回 平成25年2月1日 参加者67名 内容 講演 (i) 「効果的な健康診断の進め方」 中央労働災害防止協会 技術支援部 専門役 武田 繁夫 (ii) グループ討議 「健康診断をどう活かすか」 班別テーマ ①有所見率の改善 ②就業上の配慮 ③要治療者等の受診勧奨	前本 正彦
---	-------

(5) 東基連産業医会の活性化

産業医会は、幹事会の開催と産業保健活動に携わる勤務産業医に対して研修会を実施、勤務産業医の活動の支援並びに交流の場を提供しています。

(19年再発足、現在会員数58名。)

平成24年度は、平成25年2月18日に幹事会(7名参加)を実施し、3月18日に研修会を実施しました。参加者数19名

内容 ① 平成25年度東京労働局行政運営の重点課題 第12次労働災害防止計画の概要 健康確保対策、メンタルヘルス対策を中心に 東京労働局労働基準部 健康課長 大河内秀人 ② 事例発表 東京産業保健推進センター、メンタルヘルス対策支援センターにおけるメンタルヘルス対策の支援事例 (独法) 東京産業保健推進センター、メンタルヘルス対策支援センター 促進員 前本正彦

(6) 安全・労働衛生教育研究会の開催

株式会社PRCと共催して安全衛生研修会を実施しています。

内容は以下のとおり。

イ 第1回 平成24年6月20日 参加者70名 東医健保会館 ① ビデオ上映 (イ) 職場安全の基礎知識 ～災害原因を追放しよう～ (ロ) リスクアセスメントのすすめ方
--

～流通・小売業における行動災害の防止～

② 講演

「作業現場に潜む不安全の発見と改善の着眼点」

～事業場安全診断の改善事例をもとに～

社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会前会長

労働安全衛生コンサルタント 沼野雄志

ロ 第2回 平成24年 9月26日 参加者50名 東医健保会館

① ビデオ上映

(イ) <改訂版>作業環境管理の考え方

～適正な労働衛生管理推進のために～

(ロ) 快適なVDT作業のポイント

～あなたにできる人間工学の自己チェック～

② 講演

「ラインと一体化した労働衛生管理を進めるためには」

～衛生管理者・スタッフの役割（メンタルヘルスを含めて）～

中央労働災害防止協会 技術支援部 専門役 武田繁夫

3 労使の意識の高揚・啓発

(1) 第9回東京産業安全衛生大会の開催

平成24年7月5日、東京都千代田区の日本教育会館一ツ橋ホールにおいて、東京労働局、各労働基準監督署及び各地区労働基準協会と共催で第9回東京産業安全衛生大会2012を開催し、756名の参加を得ました。大会の初めに、安全衛生表彰並びに伝達式が行われました。

イ 安全衛生表彰受賞者

・ 厚生労働大臣	優良賞	有期事業	2 作業所
・ 厚生労働大臣	奨励賞	継続事業	1 事業場
・ 厚生労働大臣	功績賞		1 名
・ 厚生労働大臣	安全衛生推進賞		1 名
・ 東京労働局長	優良賞	継続事業 1 事業場	有期事業 1 作業所
・ 東京労働局長	奨励賞	継続事業 2 事業場	有期事業 1 作業所
・ 東京労働局長	功績賞		3 名

ロ 事例発表（安全）

「横河マニュファクチャリング(株)青梅事業所の安全衛生活動について」

横河マニュファクチャリング(株) 青梅事業所

プリント板製造部 管理課長 木藤 輝雄

事例発表（労働衛生）

「福島第一原発対策工事における熱中症予防の取組について」

清水建設(株)建築事業本部

安全環境部 部長 岡口 澄夫

ハ 特別講演

「ヒューマンエラーはなぜ起きる－全社で取り組む事故防止－」

長岡技術科学大学システム安全系 准教授 岡本 満喜子

(2) 産業保健フォーラム IN TOKYO 2012の開催

平成24年11月21日に東京都江東区の「ティアラこうとう」において、東京労働局・東京産業保健推進センターと共催、東京都を始め多くの団体の後援を得て開催されました。会場では、約1000人の参加を得て、講演、セミナーのほか相談コーナー、体験コーナー、展示コーナー等が催されました。

イ 特別講演

「企業のメンタルヘルスにおける認知行動療法活用のヒント」

(独法) 国立精神・神経医療研究センター・

認知行動療法センター長 大野 裕

ロ 事例発表1

「再発防止を目指したメンタルヘルス対策

～味の素(株)における復職プログラムについて～」

味の素株式会社 人事部健康推進センター

保健師 横尾 亜子

事例発表2

「実効性のある身体と心の健康管理を目指して

～より積極的な産業保健スタッフの関わり～」

東京急行電鉄株式会社 東急病院健康管理センター

保健師 山田 藍

ハ 健康相談・健康測定コーナー

ニ 「特配休暇制度を知っていますか」

(社) 全国労働基準関係団体連合会東京都支部

ホ 展示コーナー

(3) 第71回全国産業安全衛生大会（富山大会）

平成24年度は、10月24日から26日まで、富山県富山市の「富山市総合体育館」をメイン会場に、「第71回全国産業安全衛生大会」が開催されました。

当連合会は、地元富山労働基準協会の運営に協力し、都内各事業場への大会参加を呼びかけました。

本大会は、全国から約8,000名の参加者を得て、総合集会、分科会ともに盛況

のうちに終了しました。この成果を次の大阪大会につなぐこととします。

4 労働条件の確保・改善対策

(1) 職場におけるパワーハラスメントの予防・解決セミナー

7月25日に日本教育会館一ツ橋ホールにて東京労働局が実施、共催として支援し、372名の参加を得ました。

(2) 労災保険給付実務講習会を10月3日と11月27日に実施し、各々88名、83名の参加者を得て、熱心に実施されました。

5 社団法人全国労働基準関係団体連合会東京都支部事業

新規起業事業場就業環境整備事業の実施

労働者の労働条件・就業環境確保のため、5年以内に新たに事業を起こした事業場に対して労働条件整備のための支援を行う事業で、平成24年度は、申請が22事業場、普及指導員7名により延べ22件の各種相談、指導を実施しました。

6 中央労働災害防止協会東京都支部事業

中災防東京都支部としての事業は、共催での講習会を2回実施しました。内容は、リスクベースで考える機械災害防止基礎研修とメンタルヘルス推進担当者養成研修で、各々11名、23名の参加を得ました。

また、全国産業安全衛生大会（富山大会）の参加勧奨に支部として積極的に取り組みました。

7 会議等

内容は以下のとおり。

- | | | | |
|--|-------|-------|-------------|
| (1) 定期総会 | 平成24年 | 5月30日 | 上野精養軒 |
| 公益社団法人として2年目の定期総会において審議、平成23年度財務諸表が承認、平成23年度事業報告、平成24年度事業計画、収支予算案等が報告。 | | | |
| (2) 理事会 | | | |
| イ 第1回理事会 | 平成24年 | 5月14日 | JFEスチール株式会社 |
| 平成23年度事業報告、同財務諸表が承認、定時総会議案等が報告。 | | | |
| ロ 第2回理事会 | 平成24年 | 5月30日 | 上野精養軒 |
| 総会終了後開催し、副会長（業務執行理事）選任及び理事会の招集規定が承認。 | | | |
| ハ 第3回理事会 | 平成25年 | 3月18日 | 株式会社東芝本社ビル |
| 平成25年度事業計画、同収支予算書及び役員改選案が審議承認。 | | | |
| (3) 各地区労働基準協会等連絡協議会 | | | |
| | 平成24年 | 6月11日 | 中央協会 |
| | 平成24年 | 12月3日 | 同上 |
| 第1回地区協会等組織検討委員会 | | | |
| | 平成25年 | 2月18日 | |

- (4) 東基連会報編集会議 平成24年4月以降6回開催
今年度から、4, 6, 9, 11, 1, 3月に実施、会報は単色、会員事業場訪問を連載。
- (5) 社団法人全国労働基準関係団体連合会関係
イ ブロック代表(幹事)会議 平成24年5月15日 レン御茶ノ水ビル
ロ 常任理事会・理事会・総会 平成24年5月28日 メルパルク東京
ハ 臨時総会、理事会、ブロック代表者会議
平成24年9月25日 TKP御茶ノ水カンファレンスセンター
ニ ブロック代表幹事会 平成25年3月1日 同上
- (6) 中央労働災害防止協会関係
イ 理事会・総会 平成24年5月29日 経団連会館
ロ 全国衛生管理者協議会総会 平成24年5月29日 同上
ハ ゼロ災運動推進協議会
幹事会 平成24年 8月27日 産業安全会館
総会 平成24年10月25日 富山県農協会館ホール
ニ 全国支部長会議 平成25年2月28日 芝パークホテル
- (7) 関東安全衛生サービスセンター連絡会議
平成24年12月13日 安全衛生総合会館
- (8) 東京産業保健推進センター関係
運営協議会 平成24年11月5日 東京産業保健推進センター
平成25年 3月14日 同上
第1回東京産業保健・メンタルヘルス対策総合推進協議会
平成25年3月5日 同上
- (9) その他
イ 雇用均等行政推進員会議 平成24年7月4日 東京労働局
ロ 全国登録教習機関協会 定時総会 平成24年8月24日 メルパルク東京
ハ (公財)東京都予防医学協会評議員会 平成24年6月28日 保健会館

8 広報・出版関係事業

- (1) 会報「東基連」の月間発行
- (2) 「衛生管理教程」・「労働衛生関係法令集(有害業務)」の販売・改定
- (3) 「新版これがポイント!労働基準関係法」の販売
- (4) 「わかる労働時間管理」の販売
- (5) 「労災保険給付の手続き」の販売
- (6) 「職長研修テキスト」

9 会員に対するサービス

- (1) 会報「東基連」無料配布

- (2) 各種講習会・研修会の開催
- (3) 各種大会・フォーラム等の開催
- (4) 各種講習（技能講習を除く）受講料の割引
- (5) 出版物等代金の割引

10 その他

- (1) 労働安全衛生法に基づく免許関係の東京地区出張特別試験
関東安全衛生技術センターが実施する東京地区出張特別試験の事務局を平成15年度から当連合会が担当、平成24年度（第10回）は、9月22日に東京都新宿区の早稲田大学西早稲田キャンパスにおいて実施。衛生管理者、ボイラー技士、クレーン運転士、移動式クレーン運転士の免許試験を実施し、約4,000人が受験しました。
- (3) 緑十字賞の推薦 1名
・山田 豊造 氏（三田労働基準協会前会長 山田倉庫(株)代表取締役会長）
- (4) 中小企業無災害記録証の申請 4件
 - ・東電ハミングワーク株式会社 第1種
 - ・光洋電機株式会社 第1種
 - ・東洋亜鉛株式会社 第1種
 - ・トキオ精工株式会社 第2種